

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 千寿青葉中学校 校長 根本 幸男

1 学校教育目標

生命尊重と人間尊重の精神を基調とし、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会に活躍できる「徳・知・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

- ・活発で礼儀正しい生徒
- ・自ら学び、粘り強く努力する生徒
- ・心身ともに健康で、心豊かな生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ・朝読書を毎日行い、読書週間の確立と読書に親しむ態度を育てる。
- ・問題解決のために、学校図書館や ICT 機器を積極的・主体的に活用できる生徒を育てる。
- ・図書委員会の生徒により、貸し出しや学校図書館の環境整備・本の紹介を行い、生徒の読書への関心を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,551 冊（蔵書基準冊数 9600 冊）／ 蔵書率 131%（前年度末 136%）									
	② 新規購入図書 469 冊 ／ 廃棄図書 186 冊 ／ 増減冊数 293 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.0%	2.6%	8.2%	8.6%	7.8%	4.9%	2.9%	9.8%	5.5%	46.7%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12:30～17:30									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 7 冊（前年度末：4 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1686 %（前年度末：1802 %）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読書を楽しもうとする態度を養い、学校図書館を利用する習慣を身に付けさせる。 ②学校図書館の基本的な利用の仕方・図書館の扱い方などを身に付けさせる。 ③学校図書館を利用して、課題に対する調べ方等、情報活用能力を育成する。									
今年度の成果目標					達成基準					
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書することができる。 ビブリオバトルなどで生徒同士、本を勧め合うことができる。 ②魚沼自然教室や校外学習に向けて調べ学習を行い、調べたことをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みを知り、必要に応じて学校図書館を活用することができる。					①第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し冊数を前年度以上にする。 校内ビブリオバトルの参加100% ②調べ学習を全員で取り組み、発表する ③学校図書館オリエンテーションを全クラスで実施。100%参加。 読書や探求活動の授業を5回以上。					
目標達成状況										

① ② ③	
第2学年	①読書の幅を広げ、進んで読もうとする態度を育成する。 ②学校図書館の利用の仕方や検索の仕方を身に付け、ICT 機器を使った活用能力を育成する。 ③学校図書館を正しく利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して読書することができる。 ビブリオバトルなどで生徒同士、本を勧め合うことができる。 ②校外学習に向けて、図書や ICT 機器を使って調べ学習を行い、調べたことや自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館のきまりを理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	①第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し冊数を前年度並みに。 校内ビブリオバトルの参加 100% ②全員が調べ学習に ICT 機器を使って取り組み、発表ができるようにしていく。 ③読書や探求活動の授業を各クラス年5回以上実施。
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	①広い視野に立って適切な読み物を選んで読もうとする習慣・態度を育成する。 ②図書や新聞、ICT 機器などを適切に活用して、適正に情報を処理し、思考・判断する能力を育成する。③
今年度の成果目標	達成基準
①①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書することができる。また、生徒同士、本を勧め合うことができる。 ②修学旅行に向けて、図書や ICT 機器を使って調べ学習を行い、自分の考えをまとめ、表現することができる。	①第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し冊数を前年度以上にする。 ②100%の生徒が修学旅行まとめを作成。また、調べ学習コンテストに代表数名が出品する。
目標達成状況	
① ② ③	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・生徒や教職員に購入図書のアンケートをとり、必要な図書を増やしていく。特に調べ学習に必要なものに対しては補充をしていく。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・新生生に対して、支援員と協力して学校オリエンテーションを実施する。 ・教職員と支援員、図書委員会が連携して図書館運営にあたるとともに、図書館活用の啓発をしていく。	
【その他】	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）